



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,481	13.4	425	1.4	426	21.0	220	32.0
23年3月期第1四半期	2,188	△2.3	419	△8.2	352	△32.2	166	△23.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 230百万円 (149.4%) 23年3月期第1四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.15	—
23年3月期第1四半期	12.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,077	13,519	43.1
23年3月期	27,035	13,387	42.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,672百万円 23年3月期 11,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,229	△3.0	593	△25.4	594	△19.1	341	44.5	25.00
通期	8,553	△1.7	1,201	△20.1	1,178	△22.0	660	3.9	48.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	359,462 株	23年3月期	359,462 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	13,640,538 株	23年3月期1Q	13,640,663 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、東北・北関東を中心とした地震、津波によるサプライチェーン被害と、福島原発事故による電力不足や放射能汚染の影響で企業の生産が著しく減少するなどの影響が大きく、雇用情勢や個人消費、設備投資は低調に推移いたしました。また欧州の信用不安や米国の経済回復の遅れから円高・株安基調が続き、今後の景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。そのような中で、当社グループにおける事業環境は、一部に円高の恩恵があるものの引続き厳しい状況でありましたが、震災の逆境をはねのける強い営業意識を統一して、当社グループの経常利益は前年同期比大きく改善いたしました。

① 繊維事業

原糸販売は、4月中旬以降、海外の原料相場が急落したことを受けて5月の荷動きが落ち込んだものの、産業用一般資材織物の市況回復が続いて、輸入ポリエステル糸およびレーヨンフィラメント糸の販売が総じて堅調に推移し増収となりました。

アパレル関係は、震災の影響でプロ野球やサッカーJリーグの開幕が遅れたことに影響を受けたものの、スポーツ関連商品は例年並みのスタートを切ることが出来ました。また、法人ユニフォームは百貨店との取り組みにより大口受注ができて、大幅な増収となりました。

カジュアル縫製品関係は、当社の自社企画商品ユミカツラ（桂 由美ブランド）を百貨店にて販売していく路線が順調に拡大した結果、増収となりました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、震災後の需要不振から発注取り消しや引き取り延期などがあり減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は12億72百万円(前年同期比44.8%増)となり、営業利益は44百万円改善して40百万円の黒字を確保いたしました。

② 商業施設賃貸事業

震災による二つの大型商業施設への影響は軽微なもので、営業には支障は有りませんでした。「イオンモール川口キャラ」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるという利便性がお客様に評価されるなど、震災後の計画停電による影響があったもののイオンモール川口キャラの売上高は前年同期比増加したと聞いております。一方の「イオンモール川口グリーンシティ」は賃貸期間の延長による賃料の引き下げにより賃料収入が減少したものの、商業施設賃貸事業は引続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は5億78百万円(前年同期比11.6%減)、営業利益は3億7百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、原発事故による計画停電の実施や震災による自粛ムードにより、全体の入場者、売上高ともに前年に比べて僅かに減少となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億61百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は54百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、少子化・免許離れによる入校生の減少は小康状態が続きましたが、普通車の入校生の減少を好調な二輪車がカバーして僅かに増収となりました。

ギフト事業部の慶弔ギフト品販売は、震災の影響により冠婚や記念行事などが相次いで中止となり販売は苦戦いたしました。顧客の掘り起こしなど販売提案力を強化して僅かな増収となりました。ディアグリーン課の緑化事業は、自動給水プランター「e-プランター」の販売やレンタル事業の拡販を推進し、ほぼ前年並みの成績となりました。

自動車板金塗装修理事業は、トヨタ生産方式の生産性の向上や自社見積り件数の増加など売上増強策を推進して増収となりました。

インテリア施工事業の神根サイボー(株)は、一般工事の受注に努めましたが、震災による建築資材の調達遅れ等から大幅な減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は3億68百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は24百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、24億81百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は4億25百万円(前年同期比1.4%増)、経常利益は4億26百万円(前年同期比21.0%増)、四半期純利益は、2億20百万円(前年同期比32.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少があるものの、繊維事業において、法人ユニホームの大口受注を得られたことにより、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ41百万円増加して270億77百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したものの、借入金の返済による減少等により前連結会計年度末に比べ90百万円減少して135億57百万円となりました。純資産は、期末配当の支払があったものの、四半期純利益の計上による増加等により、前連結会計年度末に比べ1億32百万円増加して135億19百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ49百万円減少して25億73百万円となりました。

営業活動により得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ46百万円増加して3億70百万円となりました。これは主に売上債権の増加、法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ73百万円減少して52百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ1億円増加して3億67百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月19日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は12円23銭であります。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,101,393	2,994,365
受取手形及び売掛金	1,020,243	1,269,446
有価証券	20,187	20,136
商品及び製品	466,364	507,670
仕掛品	15,162	17,536
原材料及び貯蔵品	36,687	41,546
その他	320,642	297,554
貸倒引当金	△15,353	△861
流動資産合計	4,965,327	5,147,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,375,813	11,225,976
土地	5,164,477	5,164,477
その他(純額)	121,267	113,682
有形固定資産合計	16,661,558	16,504,135
無形固定資産	160,555	145,053
投資その他の資産		
投資有価証券	4,505,668	4,546,847
その他	776,010	762,577
貸倒引当金	△33,517	△28,574
投資その他の資産合計	5,248,161	5,280,850
固定資産合計	22,070,274	21,930,039
資産合計	27,035,602	27,077,434
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,267	575,932
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	31,447	177,487
賞与引当金	81,922	33,288
役員賞与引当金	6,200	1,550
その他	995,116	954,680
流動負債合計	1,964,953	1,952,938
固定負債		
長期借入金	1,225,000	1,172,500
退職給付引当金	245,809	236,218
役員退職慰労引当金	174,677	176,883
長期預り保証金	8,977,843	8,995,757
その他	1,059,843	1,023,652
固定負債合計	11,683,172	11,605,012
負債合計	13,648,126	13,557,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,685	868,685
利益剰余金	9,716,135	9,843,454
自己株式	△252,076	△252,076
株主資本合計	11,734,744	11,862,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△141,921	△154,424
繰延ヘッジ損益	△35,402	△35,161
その他の包括利益累計額合計	△177,323	△189,586
新株予約権	23,500	24,258
少数株主持分	1,806,555	1,822,748
純資産合計	13,387,476	13,519,483
負債純資産合計	27,035,602	27,077,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,188,136	2,481,293
売上原価	1,407,490	1,694,245
売上総利益	780,645	787,047
販売費及び一般管理費	360,950	361,473
営業利益	419,695	425,574
営業外収益		
受取利息	5,280	4,071
受取配当金	32,687	33,348
持分法による投資利益	444	—
貸倒引当金戻入額	—	17,375
その他	6,026	6,193
営業外収益合計	44,438	60,988
営業外費用		
支払利息	31,539	26,054
持分法による投資損失	—	25,514
有価証券売却損	22,616	—
有価証券運用損	48,960	—
その他	8,776	8,869
営業外費用合計	111,893	60,438
経常利益	352,240	426,124
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産除却損	49,355	—
投資有価証券評価損	—	337
特別損失合計	49,355	337
税金等調整前四半期純利益	302,893	425,786
法人税、住民税及び事業税	93,396	182,208
法人税等調整額	32,167	1,661
法人税等合計	125,564	183,869
少数株主損益調整前四半期純利益	177,329	241,916
少数株主利益	10,407	21,566
四半期純利益	166,921	220,350

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,329	241,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,294	△10,787
繰延ヘッジ損益	△11,581	240
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,049	△904
その他の包括利益合計	△84,925	△11,451
四半期包括利益	92,404	230,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,201	208,087
少数株主に係る四半期包括利益	8,202	22,377

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	302,893	425,786
減価償却費	210,055	194,479
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,150	△19,434
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,806	△48,634
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,520	△4,650
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,816	△9,590
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,888	2,206
受取利息及び受取配当金	△37,967	△37,419
支払利息	31,539	26,054
持分法による投資損益(△は益)	△444	25,514
有価証券運用損益(△は益)	48,960	△3,031
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	337
売上債権の増減額(△は増加)	110,710	△246,265
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,922	△48,539
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,328	135,665
その他	216,928	△1,837
小計	729,313	390,640
利息及び配当金の受取額	42,274	42,016
利息の支払額	△31,367	△25,881
法人税等の支払額	△416,810	△36,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,409	370,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	36,333	—
有形固定資産の取得による支出	△116,355	△21,694
有形固定資産の売却による収入	—	15
投資有価証券の取得による支出	△101,414	△88,971
投資有価証券の売却による収入	28,884	—
定期預金の増減額(△は増加)	59,328	57,486
貸付けによる支出	△19,500	△10,500
貸付金の回収による収入	19,500	10,500
その他	△32,752	778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,976	△52,385

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△250,000
長期借入金の返済による支出	△52,500	△52,500
配当金の支払額	△93,032	△93,032
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△6,184
その他	△15,519	△15,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,236	△367,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,803	△49,542
現金及び現金同等物の期首残高	3,216,640	2,622,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,146,837	2,573,136

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	878,248	654,673	278,094	1,811,017	377,119	2,188,136	—	2,188,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	64,291	—	65,691	35,402	101,093	△101,093	—
計	879,648	718,965	278,094	1,876,708	412,521	2,289,229	△101,093	2,188,136
セグメント利益 又は損失(△)	△3,726	347,084	60,343	403,700	19,153	422,854	△3,158	419,695

(注)1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,272,033	578,938	261,442	2,112,415	368,878	2,481,293	—	2,481,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	64,291	—	66,391	26,528	92,920	△92,920	—
計	1,274,133	643,229	261,442	2,178,806	395,407	2,574,213	△92,920	2,481,293
セグメント利益	40,304	307,924	54,879	403,107	24,467	427,575	△2,000	425,574

(注)1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。